

第70回毎日書道展 毎日賞受賞(大字書部門) 知見 侑紀 先生

展示期間 東京展：7月25日(水)～7月30日(月)、8月1日(水)～8月5日(日)
展示会場 国立新美術館 (東京都港区六本木)

作品解説① 『幾(いく)』

『幾(いく)』は、知見先生が、今春の卒業生に贈った一文字でした。

「人生には幾つもの道があり、無数の可能性がある。その都度、適切な道を選び、よい人生を歩んで欲しい」との願いを込めた一文字です。太く力強い筆から先生の思いが伝わってきます。

解説② 大字書部門

文字数が一字か二字で表される大字の、漢字、ひらがな、カタカナ作品です。

表彰式は、7月22日(日)、品川プリンスホテルで行われました。



第15回安芸全国書展高校生大会 文部科学大臣賞受賞 川窪桜 さん(書道部)

展示期間 平成30年8月16日(木)～9月2日(日)
展示会場 安芸市立書道美術館 (高知県安芸市)

安芸全国書展高校生大会で、川窪 桜 さん(書道部3年生)の『臨 顔氏家廟碑』が、最高賞の文部科学大臣賞に輝きました。

表彰式は、8月17日に安芸市民会館(高知県安芸市)で行われました。表彰式後に開かれた席上揮毫(きごう)会では、上位9賞入賞者の皆さんが見事な筆さばきを披露しました。書道に夢を託して頑張ってきた他県の高校生たちとも交流し、川窪さんには素晴らしい一日となりました。

作品解説① 『臨 顔氏家廟碑(がんしかびょうひ)』

顔真卿(がんしんけい：709～785年)は中国、唐代の政治家・書家。顔氏家廟碑は顔真卿の代表的な楷書作品です。その独自の作風は、蚕の頭のような起筆と、燕の尾のような払いから、蚕頭燕尾(さんとうえんび)と評されます。



川窪さんからのメッセージ

この賞を受賞できて本当に嬉しいです。ずっと目標にしていた賞だったので、取ることができてよかったです。もっと書道を追求して、これからも頑張っていきたいと思います。



取材を受ける川窪さん



席上揮毫会